

●事業の目的

- 住宅確保要配慮者に対する積極的な空き家の利活用促進のための、障害者の親向けおよび不動産事業者に対して、住宅確保要配慮者の賃貸借に関する現状の分析

●活動エリア

- 東京都中野区

●協議会の構成団体、連携先団体

- 価値住宅、松山順子社会保険労務士事務所、弁護士事務所
- 連携先: 東京都中野区、ほか区内の福祉関連事業者等

●実施内容

- 中野区との住宅確保要配慮者に対する空き家利活用についての勉強会
- 住宅確保要配慮者への住宅提供に関する障害者の親向けアンケート、不動産事業者向けのアンケート調査

●構成団体等の役割分担

- 勉強会開催、アンケート調査実施: 価値住宅、松山純子社会保険労務士事務所、弁護士事務所
- アンケート調査協力: 東京都中野区

●事業内容の成果、特徴、課題等

- 特徴: 中野区福祉課と、中野区における空き家のグループホーム転用や住宅確保要配慮者等の生活支援状況についての情報共有を通じて、次年度以降の活動に必要なネットワークを形成しつつある
- 成果(セミナー): 参加者数14社30名
- 成果(アンケート): 配布数179社(中野区住み替え支援事業協力不動産店)、回収数35社
- 課題: 不動産事業者の住宅確保要配慮者への賃貸に関する意識、医療従事者の現状を踏まえた、行政や民間事業者との連携による中長期的な実績の積み上げ

不動産事業者向けセミナーの様子



不動産事業者、空き家所有者向けパンフレット

